

石クリ通信

2月号

コロナ感染防止対策強化 ご協力をお願い 事務長 石川 都

昨年末の石クリ通信で、コロナを過度に怖れずきちんと正しく怖れ、コロナと共存してゆこう・・・という福岡伸一の言葉をご紹介しました。

そして当クリニックでも、昨年からの以下の掲示をしています。熱のある方は発熱外来のある他の専門医療機関へ・・・付き添いの方も院内へは原則一人、あとの方は車内でお待ちを・・・

ただ今年に入っても、茨城のコロナ感染者は一向に収まる気配なく急増しているため、ここでさらなる感染防止対策として以下の項目を追加しました。

・院内でのマスク着用（お忘れの方は受付で販売）
・入口での手指消毒と検温
・待合室座席のソーシャルディスタンス確保
・新聞雑誌など読物の撤去

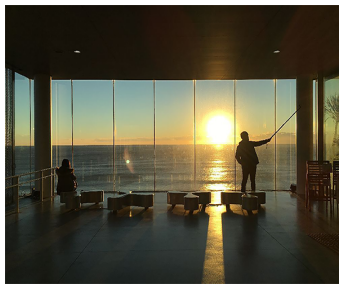
さらに必要時以外はドアや窓も開けて院内の換気も行うことで、待合室や診察室も通気性がよくなった分、冬の間は少し寒く感じられるかもしれません。皆様にはご不便をおかけしますが、コロナ対策は今が正念場ですので、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

年末のラジオ番組において、村上春樹は山中伸弥と対談し、「新型コロナとの戦いは殺し合うための力の戦いではなく、生かすための知恵の戦いであり、我々がどれだけ助け合い、励まし合えるかが試されている。」と語ったそうですが、本当に今回のコロナ禍は、人間の本质や組織の力量を露わにする試金石だと思っています。

初日の出

看護師 太田 小百合

「初日の出を見るのは縁起の良いこと」と言われているので、今年も見に行ってきた。二〇二一年一月一日午前六時五十四分頃、日立駅から見た日の出です。毎年見る日の出ですが、いつもきれいで何回見ても感動します。「コロナが終息し、大声で笑い合える日々が早く来ますように・・・」とお願いいしました。早く願いがかなえばいいなと思います。



高齢者運転免許

院長 石川 悟

この4月に70歳になるので、運転免許の書き換えが必要になりました。事前に高齢者向けの講習が必要との連絡があったので、いよいよ認知症の検査！と勇んで行ったのですが、認知機能検査は75歳からで、小生が参加した講習は、認知症検査の成績が良かった人が参加するものでした。

ご存知の方も多いでしょうが、講義と視力検査、それに実際の運転実技講習です。視力検査、動体視力検査、視野の検査などは確かに運転するうえで重要で免許書き換えの事前のチェックとしては必要だとは思いますが、改善の余地があると思うのは講義。高齢者の事故が増えている、夜間が危ない、などのテキストに沿って説明されても、実際の事故防止に役立つとはとても思えません。実際の事故の映像（ドライブレコーダーの記録など）を見せて、事故防止のためには、どのような対策が必要か、参加者に討議してもらえば、事故防止への動機付けや意欲がわくのではないのでしょうか。

認知機能検査で75点以下の人には、1時間多い講習が義務付けられています。それだけでは事故防止の対策として全く不十分だと思います。今日は何月何日か言えなかつたり、極端に短期記憶力が悪い人は、運転能力も心配だ、と言えませんが、90歳を過ぎてもしつかりとした生活をしている人もいます。運転免許を取り上げると日常生活を制限されるという人権の問題もあります。ただし高齢者が大きな事故を起こして、若い人や子供が犠牲になる報道も相次ぎ、高齢者の運転をどうするかは難しい問題です。

最近ではドライブレコーダーが安価になったので、運転能力の判断に、ドライブレコーダーの記録を使ったりしたいと思えます。免許更新の前に2週間分くらいは運転記録を提出、一時停止を無視、危ない交差点を徐行しない、自転車無理に追い越すなど、事故に結びつくような運転をしたら、減点して、免許更新の不可を決める方法です。「人手が足りない」と却下されそうですが、今はやりのAI（人工知能）を使えば、客観的な判定ができると思います。

節分飾り

事務 森 多加子

もうすぐ節分です。節分といえば豆まきと恵方巻きを思い浮かべますが、私は節分飾りの「柊鰯」です。子供の頃、母が作った「柊鰯」を玄関や勝手口に飾りました。焼いた鰯の頭を柊の枝に刺したものです。鬼は焼いた魚の匂いが嫌いで、柊の葉のトゲトゲが苦手。鬼の侵入を防ぐ飾りです。今年は何十年かぶりに飾ってみようと思います。鬼とコロナから守ってくれるといいのですが。

今年は昨年より悪い？

看護師 澤田 彰子

今年も年賀はがきの当選番号が発表されました。皆さんは確認しましたか？ 昨年は8枚も切手シートが当たりました。今年も1枚だけでした（涙）。普通なら昨年より運がないのではと心配になりますが、プラス思考の私は「運があるから1枚当たった」と捉えています。コロナ禍で暗くなりがちですが、何事もポジティブシンキングでいきたいと思います。

初詣

事務 田所 弓佳

今年も密を避けて、しっかりと感染防止対策をしてから初詣に行きました。お参りをして毎年恒例のおみくじも引いてきました。おみくじの結果はなんと今年も「大吉」でした！ 昨年も大吉を引いて2年連続大吉で自分でもびっくりです！ 2021年 happy な年始めになりました。今年もよろしく願います。

暮らしの便利帳その二

看護助手 柴田 さち子

カビ取りスプレーを使わなくても、洗濯用の漂白剤でカビ取りができます。乾いたばら布に漂白剤をたっぷりしみ込ませ、壁や目地を拭きます。しばらくそのままおいてから水で流せば終了です。殺菌効果もあるので、カビがつかにくくなります。一度試してみたいかがでしょう。私も試してみたら、きれいになりましたよ。

年賀状

通信・ウェブ担当 石川 香

私が幼少時代には、クラスの友人など当たり前のように入年賀状を送っていました。お正月には両親や祖父祖母の分厚い年賀状を横目に見ながら、自分の年賀状を一生懸命探し出し、枚数を数え、楽しみに読んでいたものです。その後実家を出ると、SNSの普及で手軽にコンタクトが取れるようになったことや、個人情報保護が叫ばれ住所が入手しにくくなったことで書かなくなりました。

